

第38期 (2026年3月期)

決 算 公 告

( 2025年 4月 1日 から  
2026年 3月 31日 まで )

群馬県高崎市八幡町409番地

ロイヤルデリカ株式会社

# 貸 借 対 照 表

( 2026年3月31日現在 )

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,056,168	流動負債	941,757
現金及び預金	14,085	買掛金	448,511
売掛金	912,095	リース債務	765
商品及び製品	3,915	未払金	382,063
原材料及び貯蔵品	46,252	未払費用	38,264
仕掛品	12,482	未払法人税等	1,155
前払費用	6,819	未払消費税等	28,509
関係会社預け金	23,640	預り金	3,262
その他	36,876	賞与引当金	39,225
			-
固定資産	889,260	固定負債	1,478,679
有形固定資産	726,886	長期借入金	1,476,000
建物	197,392	リース債務	2,679
構築物	31,839		
機械装置	289,918		
車輛運搬具	0		
工具器具備品	5,625		
土地	198,977		
リース資産	3,132		
無形固定資産	1,608	負債合計	2,420,437
ソフトウェア	1,463	純資産の部	
電話加入権	145	株主資本	△486,815
		資本金	98,000
		資本剰余金	-
		資本準備金	-
		その他資本剰余金	-
投資その他の資産	160,764	利益剰余金	△584,815
投資有価証券	76,524	利益準備金	-
繰延税金資産	71,443	その他利益剰余金	△584,815
出資金	210	固定資産圧縮積立金	-
その他	12,587	別途積立金	-
		繰越利益剰余金	△584,815
		評価・換算差額等	11,807
		その他有価証券評価差額金	11,807
		繰延ヘッジ損益	-
		純資産合計	△475,008
資産合計	1,945,428	負債・純資産合計	1,945,428

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 注記事項

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### 1. 資産の評価基準及び評価方法

##### (1) 其他有価証券

市場価格のない株式等  
以外のもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

市場価格のない株式等

移動平均法による原価法

##### (2) 棚卸資産

商品及び製品

先入先出法による原価法

(ただし、販売用食肉は、月別移動平均法による原価法)

仕掛品、原材料及び貯蔵品

月別移動平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

#### 2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、1998年4月1日以降取得した建物(建物附属設備を除く)及び、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっております。

無形固定資産

(リース資産を除く)

定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいて  
おります。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### 3. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

#### 4. 収益及び費用の計上基準

商品又は製品の販売に係る収益は、主に卸売又は製造等による販売であり、顧客との  
販売契約に基づいて商品又は製品を引き渡す履行義務を負っております。  
当該履行義務は、国内販売については、出荷時から当該製品の支配が顧客に  
移転される時までの期間が通常の期間であるため、商品又は製品の出荷時点において  
充足されると判断し、出荷時点で収益を認識しております。国外への販売については、  
輸出の取引条件による在庫の保有に伴うリスクが顧客に移転する時点で収益を  
認識しております。

### 当期純損益金額

当期純利益

△210,696千円

(注)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。